

「北陸地域ICTイノベーションセミナー2021」を開催 ～ 令和3年度 SCOPE 研究成果発表会 ～

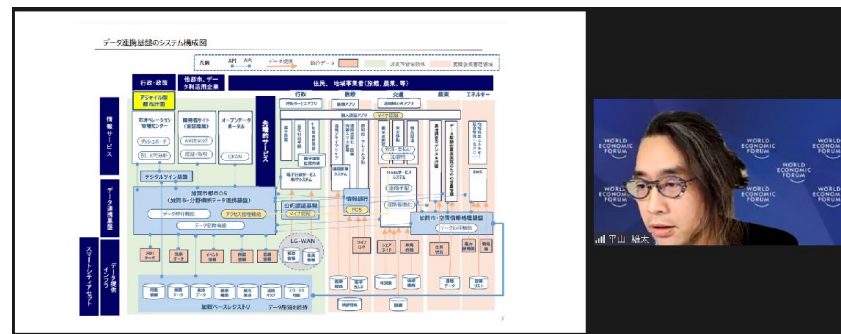


北陸情報通信協議会（会長 金井 豊）は、総務省北陸総合通信局及びICT研究開発機能連携推進会議と共催して、1月24日に金沢市のKKRホテル金沢とZoomによるオンラインのハイブリッドで「北陸地域ICTイノベーションセミナー2021」を開催しました。

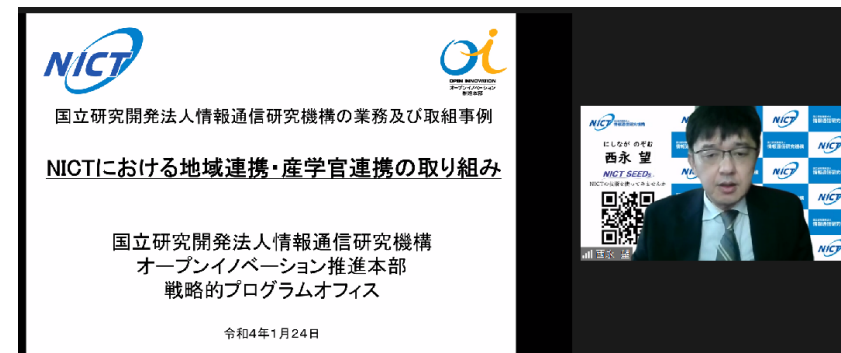
セミナーは、最初に基調講演として、世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター スマートシティプロジェクト長 平山 雄太 氏が「異分野間連携による次世代の社会インフラシステムの動向」と題して、スマートシティの次世代社会インフラシステムの動向や、世の中で起きている構造的な変化を踏まえた異分野間連携の事例と考え方について講演しました。

続いて、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） ソーシャルイノベーションユニット 戦略的プログラムオフィス長 西永 望 氏がNICTの業務及び取組事例について説明し、社会課題・地域課題を解決するための研究開発により、一層北陸地域と連携を図りたいと述べました。

北陸3県でのSCOPEの研究課題については、福井大学教授の橋 拓至氏が「オープンソース言語による高信頼・高効率なサービス保証型ネットワークスライシングの研究開発」、北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 赤木 正人 氏が「確実に情報を伝える音声避難誘導システムの研究開発」と、それぞれの研究概要とその成果を発表しました。ICT関連企業や研究者など総勢約60名が参加しました。



基調講演 平山 雄太 氏（オンライン画面）



西永 望 氏（オンライン画面）



会場の様子



橋 拓至 教授



赤木 正人 教授